

上手な医療のかかり方

緊急時以外は平日昼間(診療時間内)に受診しましょう

時間外

休日

深夜

などの受診は

本来、緊急性の高い重症患者や入院患者に対応する時間です。



容易に受診してしまうと...

- 本来に治療が必要な方の治療の機会を妨げる可能性があります
- 医療費が割増料金になり自己負担額が増えます
- 医療スタッフの負担になり、医療の質や安全に影響が出る可能性があります

休日や夜間にお子様が急病の場合
まずは電話相談をご利用ください

子ども医療でんわ相談

#8000

※明らかに緊急を要する急病の場合は、迷わず医療機関を受診してください

はしご受診は控えましょう

「はしご受診」とは、同じ病気でいくつもの医療機関を受診することです。

● はしご受診のデメリット

身体への負担

何度も同じような検査を受けることで身体に負担がかかります。

医療費の負担が増加

医療機関を受診するたびに初診料が発生してしまいます。

薬の重複服用

同じような作用の薬を処方され服用する薬が重複してしまいます。

医療費が高額になるだけでなく身体への負担にもなるため、できるだけはしご受診はしないようにしましょう。

はしご受診をした場合としない場合を比べてみよう

3つの医療機関をはしご受診した場合

- | | |
|--------------|---------|
| ① 医療機関 A で受診 | 初診料+検査料 |
| ② " B で受診 | 初診料+検査料 |
| ③ " C で受診 | 初診料+検査料 |

初診料と検査料が
3つの医療機関で発生してしまいます。

1つの医療機関で3回受診した場合

- | | |
|--------------|---------|
| ① 医療機関 A で受診 | 初診料+検査料 |
| ② " A で受診 | 再診料 |
| ③ " A で受診 | 再診料 |

初診料ではなく再診料で受診することができます。
はしご受診よりも割安で同じ回数を受診ができます。



※初診料：870円 再診料：230円(令和7年11月末日時点)



全国健康保険協会 島根支部
協会けんぽ

「かかりつけ医」「かかりつけ薬剤師・薬局」を持ちましょう

かかりつけ医とは？

「かかりつけ医」とは、健康状態などを把握して、健康管理のアドバイスをしてくれる身近な医師のことです。

かかりつけ医をもつと…



「ちょっとした不調」や「不登」でも気軽に相談することができる

普段の健康状態を把握してもらうため、早期発見につながる



詳しい検査や高度な医療が必要と診断された場合には、適切な大病院や専門医を紹介してくれるため安心

かかりつけ薬剤師・薬局とは？

「かかりつけ薬剤師・薬局」とは、一人ひとりの服薬状況を把握し薬の飲み合わせや副作用などの相談ができる薬剤師・薬局のことです。

かかりつけ薬剤師・薬局をもつと…



薬歴、体質を把握してくれるため、的確な薬を選んでもらえる

休日や夜間などの薬局が開いていない時間にも対応してくれる



市販薬を含めたさまざまな薬の相談をすることができる

●「かかりつけ医」「かかりつけ薬剤師・薬局」を選ぶポイント

通いやすい場所にある

診療時間が自分の都合に合う

なんでも相談しやすい

不安や疑問にわかりやすく答えてくれる

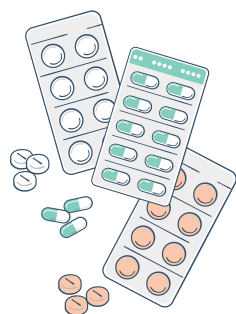
処方されたとおりに薬を服用しても体調が悪い方へ

ポリファーマシーの可能性がります

ポリファーマシーってなに？

ポリファーマシーとは、たくさんの薬を服用することによって副作用を起こしたり、正しく薬を飲めなくなってしまう状態のことです。

- 高齢になると、薬を併用することが多くなり、多剤併用によって予測不可能な有害事象が起こる可能性が高くなります
- 6種類以上の薬を服用していると、ポリファーマシーのリスクが高まるというデータもあります



薬のむやみな飲みすぎやもらいすぎに注意して、過去の副作用や気になる症状がある場合は、**かかりつけ医**や**かかりつけ薬局・薬剤師**に相談しましょう。

このような症状はありませんか？

認知機能の低下

不眠

食欲不振

めまい・ふらつき

排尿障害

物忘れ



全国健康保険協会 島根支部
協会けんぽ